



紙面が新しくなりました!

ちゅりっぷ通信

笑顔を咲かせよう♪



New!
Vol.1
2018

みなで種まき明るい未来。

デイサービス
みなまきみらいを訪ねて

お客様に「ここは「もうひとつの自分の居所」と思っていただけるデイサービス施設をめざして。

新しい紙面では、横浜市福祉サービス協会の各事業所を紹介していきます。今月号はトップバッターとして「デイサービスみなまきみらい」をご紹介します。相鉄いずみの線・南万騎が原駅みなみまきから徒歩1分と抜群の立地。できたばかりでピカピカのケアセンターみなまきみらいの中にあり、今年8月で開所1年を迎えます。みなまきみらいの愛称は、最寄り駅の南万騎が原からきているのですが、「みなで種まき明るい未来」といいたくなるような、いきいきとした雰囲気にあふれています。

それというのも、開所にあたっては職員たちが、事務所内につけるカーテンやペンダントライト、備品などを、ひとつひとつ吟味して選ぶところからスタートしており、利用されるお客様に、ここを「もうひとつの自分の居場所」と感じていただけるようにとの思いを込めて運営しているせいかもしれません。

開所してまだ1年に満たない事務所ですが、ご利用いただくお客様は口コミでだんだん増え、最初は通うのを嫌がっていたような方までが、事業所の雰囲気が入って、あっという間に大ファンになっていただきました。これも、職員が心がけている「もうひとつの自分の居場所」づくりが、ハード面でもソフト面でも成功しているからかもしれません。たしかにすれ違う職員の方たちは一人一人が優しく、笑顔が素敵なたちばかり。これなら安心して頼れて、毎回来るのが楽しみになっています。

楽しいレクリエーションから、快適に安心して過ごせる入浴タイムまで心をこめて運営。

「デイサービスみなまきみらい」では、午前中は機能訓練が中心の短時間。午後は趣味活動を中心に、夕食まで提供しています。今回取材におうかがいしたのは午後の時間でしたので、レクリエーションの様子から評判のいい夕食までの様子を見せていただくことができました。

広いお部屋では、いくつかのテーブルに分かれて10人ほどのお客様が椅子にくつろぎながら職員の手すホワイトボードに見入っている様子。職員の問いかけに、口々にみなさんが大きな声で答えており、見ると、なかなか難しいしりとり遊び。集い↓椅子↓^{すいれん}睡蓮、と答えが続くたび、ちよっとした歓声があがっていました。



それぞれのテーブルの中央にはきれいな季節の

花々が活けられており、なんとこれはきょうの取材に合わせた、お客様がわざわざご持参くださったお花なのだとか。楽しい雰囲気や華やかな彩りまで添えていただきました。

レクリエーションは続き、いつのまにか今度はカラオケタイム。懐かしい『リンゴの唄』や『青い山脈』などに、



ちよっと胸をつまらせたり、手拍子で唱和したりと、とにかく楽しんで。ふっとカラオケに飽きると、近くのマガジンラックには旅や趣味の雑誌なども用意されており、ソファでくつろぎながら気分転換することもできるよつになつています。

お風呂場を見せていただくと、広い脱衣場があり湯船にはマイクロバブルという小さな気泡を出す装置までが備えつけられていて、快適で安心できる入浴タイムが過ごせそうです。

お話をうかがったお客様からも大満足の様子。とくに夕食が素晴らしいとお褒めをいただきました。

昨年からデイサービスを利用されているお客様の^{かねみつし}金光俊子さんにお話をうかがうと、最初はお友だちの紹介で来られたそうですが、事業所の雰囲気や職員の接遇がすっかり気に入って週に2回ご近所から通われているそうです。背筋が伸び、いきいきとした表

情が魅力的な金光さんにお生まれをおたずねすると、なんと大正10年のお生まれだとか。今年で97歳になられるとは思えないお元氣ぶりです。秘訣をおたずねしたところ、骨折をしてしまった90歳までは社交ダンスを続けられ、しかも模範となるデモンストレーターをされていたとのこと。そのうえ、いまでも水泳を楽しんでおられるそうです。それが活力にあらわれているのかもしれないね。また近所のフランス人に直接フランス語を習っておられるそうです。これにもびっくり。取材を終えておいとまするときには、にっこりとオウルヴワール(さようなら)とフランス語であいさつされました。

そしていよいよ夕食の5時半。職員のみなさんが手際よく夕食を盛り付け、配膳します。金光さんが「このお夕食はとにかくおいしいの。それだけは絶対に書いてくださいな」とおっしゃっていた通り、目にもおいしそうに盛り付けです。1食1000円ですが、そのぶん食欲も引き立ててくれるおいしさが自慢、とは職員の声。みなさん、ありがとうございます。ありがとうございました。



デイサービスみなまきみらいは駅から徒歩1分と抜群の立地で、同フロア内にケアプラン作成と訪問介護、訪問看護の事業所も併設しています。お気軽にお問い合わせください。

所在地：横浜市旭区柏町131-5

☎045-3600-3299 3

ここが地元の
穴場
スポット

南万騎が原

憩いの遊歩道が整備され、四季折々の自然が
楽しめる「柏町市民の森」。



南万騎が原がある旭区は、公園が多い区としても横浜随一ではないでしょう。ゲンジボタルが生息し、水田やバーベキュー広場などがある広大な「こども自然公園」をはじめ、たくさんの公園があります。しかし、今回、穴場スポットとしてご紹介してお教えたいのは、南万騎が原駅の西側にある自然保護公園である「柏町市民の森」。特に遊具などがあるわけではなく、これといった目玉があるわけでもありません。でも、だからこそ、まさに大人のためにあるような静かな散策が楽しめる公園なんです。

2015年にできたばかりで約1.9ヘクタールのゆるやかな樹林帯の敷地は、散策エリアと自然保護エリアに分かれ、散策エリアにはスギやヒノキ、コナラ、クヌギといった木々が立ち並んでいます。コナラやクヌギといえば、カブトムシやクワガタが好む樹木ですので、夏の盛りともなれば、絶対にこれらの虫を見つけることができるはず。童心にかえてカブトムシなどを捕まえられ

たら、お子さんやお孫さんに尊敬の目でみられるかもしれませんよ。全体に里山の雰囲気があり、その中に遊歩道が整備されていて、とても歩きやすいのが特徴です。足もとほぼ整備されていますので、車椅子を押して歩くこともできますし、雨の日でも足もとが泥まみれになることもないでしょう。鳥のさえずりを聴きながら、気持ちのいい森林浴をいつでも楽しむことができます。

お店が少ない南万騎が原ですが、この市民の森の近くには相鉄ローゼンがあり、ちょっとした飲物などを買って散策するにもいいでしょう。春は目にしみるような新緑を楽しみ、夏はひんやりした木立の涼しさを味わい、秋はほどよい運動をする場所として、四季折々に楽しめます。

園内の散策路はだいたい300メートルぐらいあるようですが、整備されていますので、初めて訪れる方でも迷うこともなく歩けます。お近くにお越しの際は、ぜひ一度立ち寄ってみてくださいね。



Voice

肝臓がんを宣告された私に、寄り添って
助けてくれた横浜市福祉サービス協会と
ヘルパーの加藤知美さんに感謝。
大岡正明

私が肝臓がんを宣告されたのは2年半前のこと。頭の中が真っ白になりました。その後1年半の間に3回もの肝動脈塞栓術を受け、入院していた済生会横浜市東部病院内の退院調整室の看護師さんより紹介していただいたのが、横浜市福祉サービス協会の新子安地域ケアプラザと神奈川介護事務所です。昨年10月に退院して、今年2月からはヘルパーの加藤知美さんにずっとお世話になっています。明るくてテキパキと行動する彼女は、悲観的になりがちな私の話も聞いてくれ、物理的にも精神的にも私を助けてくれる存在。

いまでは自暴自棄を乗り越え、心穏やかに、人事を尽くして天命を待つ心境となりました。単にヘルパーであるだけでなく、心に寄り添ってくれるカウンセラーでもある彼女を、私はひそかにカウンセリングヘルパーと名づけ感謝するとともに、ケアマネジャーの丸橋淳子さん、サービス提供責任者の長谷川菜さんにも深く感謝しているのです。



左からケアマネジャー丸橋淳子、大岡正明様、加藤知美ヘルパー、サービス提供責任者 長谷川菜



平成29年度「お客様アンケート」報告

アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。



訪問介護編

多くのお客様からヘルパーの仕事ぶりや接遇面で良い評価をいただきました。しかし、なかにはコミュニケーション不足のため、行き違いがあったともうかがえるご意見もあり、「コミュニケーションの大切さを改めて感じました。今後もより丁寧に業務をすすめてまいります。

居宅介護支援編

いただいた記入式の「ご意見」の中には「ケアマネジャーの説明を聞いて安心した」「今後も頼りにしています」などケアマネジャーが多くのお客様から安心信頼を頂いていることがわかりました。しかし反面、電話対応について「話し方に冷たさを感じた」とのご意見がありました。お客様のご意見を真摯に受けとめ協会全体で改善してまいります。

これからも皆様から頂いた貴重なご意見を生かし更にサービスの向上に努めてまいります。



いま振り返る へちゅーりっぷマークに 込められた思い

横浜市福祉サービス協会のパンフレットや広報誌、封筒などで目にすることの多い「ピンクのちゅーりっぷマーク」は、まだ「財」横浜市ホームヘルプ協会時代の1988年(昭和63年)から使用されてきたものです。

当時の職員・ホームヘルパーとそのご家族から案を募集し、応募総数98点の中から入選したのはホームヘルパーのご家族からの案でした。

その案の「博愛 誠実な愛」などの花言葉を持つチューリップをアレンジし、協会のシンボルとしてデザインされています。

白抜きの花の輪郭は、横浜の頭文字の「Y」も併せてイメージされ、それを包み込むピンクの円は「ヘルパー:お客様協会の輪(和)」を象徴しています。基調となる色は、太陽の柔らかな日差しを受けた「暖かさ」「やさしさ」を表現しています。

30年もの間、協会とともに歩んでいるこのマーク。

これからもこのマークとともに、職員一同「できる」こと、まだまだ。「現在、そして未来へ向けて頑張ります。

介護者のための相談電話

介護に疲れたとき…**ほっとライン**

介護に疲れて行き詰まったり、不安になったりしたとき、ひとりで悩まないで、ほっとひと息ついてみませんか？

📞 **045-227-1718**

「お客様相談室」をご利用ください

「お客様相談室」では、事業やサービスについてのご意見やご要望をお受けしています。まずはお気軽にお電話ください。

📞 **0120-701-782** **FAX 045-227-1721**

※受け付けは年末年始および祝日を除く月曜～金曜の8:45～12:00 / 13:00～17:15まで。ご相談の秘密は厳守いたします。

協会の理念

- お客様の満足
- 人を大切にし共に育ちあう企業風土
- 公正で透明感のある企業倫理

社会福祉法人 **横浜市福祉サービス協会**

〒220-0021 横浜市西区桜木町6丁目31番地 6階

📞 **045-227-1700** **FAX 045-227-1701**

 **ホームページ** <http://www.hama-wel.or.jp/>



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用